

ひと 障 防 止 が い 者 虐 待 の 防 止 に つ い て

コラムのページ columns stand

害者虐待防止法が昨年10月1日に施行されました。

過去には「水戸アカス事件」や滋賀県サン・グループ事件など実に痛ましい事件がありました。詳細については、小欄の紙面の都合上詳しく述べれませんが、ご自身では是非この機会に調べていただければと思います。ちなみに、平成10年(1998年)のTVドラマ『聖者の行進』は「水戸アカス事件」をモデルにしており、ご記憶にある人もおられるのではないかでしょう。



say cheese!!

泉大津で起きたさまざまできごとやイベントを、写真とともにお届けします。



穴師公園



ボランティア生徒大集合!!

昨年度から、誠風中学校の生徒会と、戎・穴師・楠の各小学校の児童会では「誠風校区クリーンアップ大作戦」をスタートしました。

11月30日には、穴師公園、大津川河川敷、板原老人少年憩いの広場(キリン公園)を、4校合同で清掃しました。

大津川河川敷



自信作の貫頭衣を披露

11月18日、農業まつりで、「貫頭衣デザインコンテスト」の入賞作品を池上曾根史跡公園の屋外ステージで発表しました。発表は「2012弥生コレクション」と称し、入賞者みずからが作品を着用するファッショショ形式で行われ、自信作の貫頭衣を披露しました。



社会福祉へ役立ててと寄付

歳末助け合い運動が行われる中、市内の浄土宗寺院(12か寺)では、この運動に協力しようと托鉢(たくはつ)を行いました。12月7日には上条地区を、黒い衣に袈裟を着けた僧侶たちが念仏を唱えながら行脚し、市民に善意を呼びかけました。

定された障害者虐待防止法では、対象となる障がい者や、障がい者虐待の類型を定義し、これに対応する行政の役割と責務を明らかにしました。

市町村には、障がい者虐待防止センターを置くこととされ、本市では、障がい福祉課が「泉大津市障がい者虐待防止センター」として、障がい者に関する虐待の通報窓口や相談、指導、広報などの業務を担い、障がい者の権利擁護を基本にした支援を行います。さらに、本市独自の取り組みとして、平成24年10月にお知らせのとおり、泉大津市虐待相談ホットライン(☎080-0200-0213)を設け、児童・高齢者対応窓口と連携しながら、通報番号の一本化を図り対応しています。

法第3条には、「何人も、障

害者に対し、虐待をしてはならない」と書かれています。

障がい者の身体や心などを傷

付ける虐待行為を良かれと思

い行っている人はだれもいな

いでしよう。しかし、「いつも

こうしている」「これくらい

なら…」という日常の行為の

中に、もしかすると虐待があ

たるものがあるかも知れませ

ん。また、日々の介護疲れな

どから、つい厳しく障がい者

に接してしまうこともあるの

ではないでしょうか。

「障害者虐待の防止、障害者の養護に対する支援等に関する法律」という名称のとお

り、虐待の未然防止と心なら

ずも虐待に及んでいる養護者

に対する適切な支援が最も大

切です。これを機に一人ひとりが虐待に気づく力を高めて

いただければと願います。

コラム 知ってトクする元気になれる! 健康アップ 大作戦!

健康づくりをスタートしましょう! ~運動編~

一年の計は元旦にあり」というように今年は自身の健康づくりにチャレンジしませんか? 健康づくりの土台として、大きく運動と食事の2つがありますが、まずは運動からご紹介しましょう。

■量と質のバランスが大切

メタボ予防や、健康維持のための代表的なものは何といってもウォーキング。ウォーキングを習慣にしている人も多いと思いますが、最近の研究で、歩けば歩く(=運動の量が多い)ほど健康になるというわけではないことが分かっています。健康への効果を大きくするには、どれくらいの強さの運動をしているのかという「運動の質」もポイントなのです。

■3分継けて、息が少し弾むくらい

適度な「運動の質(強さ)」の目安としては、速歩きや階段の上り下りといったもので、「3分ほど続けたときに

息が少し弾むが、会話はできる」(=中強度)くらいの運動です。同じ20分間のウォーキングでも、息がそれほど弾まない、ゆっくりしたペースだと健康度のアップはありません期待できません。逆にウォーキングのコースに階段を入れる、2~3分の速歩きを数回入れるといった工夫で、ウォーキングの健康効果は大きく上がるでしょう。

■自分に合ったペースを見つけて、続けること

ウォーキング以外にもジムやジョギングなど、運動はいろいろありますが、何をするにしても自分に合ったものと自分のペースを見つけてましょう。先に紹介した中強度の運動も、やり過ぎれば慢性疲労につがることもありますのでご注意を。また、市では新たに市内ウォーキングマップを作成しました。フルカラーで見やすいマップになっています。ご希望の人にお配りしていますので、保険年金課(市役所1階5番窓口)までご連絡ください。



約80mの壁面をキャンバスに

「絵のあるまちづくり」活動中
「絵のあるまちづくり」は、景観市民会議「景観人の集い」とあすとホールが主催となり、地域の皆さんといっしょに公共施設の壁面などを活用し、絵を描くことで、地域の子どもたちに景観を「守る心」、「育てる心」を養ってもらい、景観保全、落書き防止などを目的としています。今回は、春日町墓地の壁面をキャンバスに、10月16日から21日と11月4日の計7日間にわたり、延べ約180人の地域の親子などが参加しました。壁画のテーマは「大津川から見た泉大津の四季」です。約80mの壁面をキャンバスに、2回に分けて描きます。残り半分は来年5月ごろの制作予定です。なお、この壁画に使用したペイントは、日本ペイント販売株式会社近畿支店大阪南営業所から寄付していただきました。



和やかな表彰式となりました

11月6日、市役所3階大会議室で平成24年度防火图画コンクール入賞者の表彰式が行われました。市内各小・中学校の児童・生徒から、1,567点の応募があり、市長賞・消防長賞・教育長賞・火災予防協会長賞の15点が表彰されました。

なお、受賞者は次のとおりです。受賞作品は、消防本部ホームページ上で閲覧できます。

▷市長賞…新町祐佳（小津中2年）、奥野なな（条東小1年）
▷消防長賞…中西未耶（東陽中2年）、井上裕生（条南小1年）、八角綾香（楠小1年）
▷教育長賞…山崎駿介（誠風中2年）、高垣ひろ子（小津中2年）、竹田朱羽（穴師小2年）、坂本晴菜（上條小1年）、金田幸穂（楠小1年）
▷協会長賞…明知悠真（東陽中2年）、田中海音（東陽中2年）、木下眞子（誠風中2年）、荒川友利愛（条南小1年）、坪倉紗織（穴師小2年）（敬称略）



協力機関との連携を深めました

11月27日に、徘徊SOSネットワーク事業において、協力機関との連携を深めるため、第1回模擬訓練を実施しました。本事業は認知症の人およびその家族などが住みよいまちづくりを進めるため、昨年10月から取り組みを進めている事業です。模擬訓練後、各協力機関と意見交換会を行い、今回の訓練を通しての感想や今後の改善点などについて意見をかわしました。



板原菅原神社跡などを見学

11月10日、第8回文化財公開展を開催しました。秋晴のもと、30人の参加者は板原菅原神社跡、板原大師堂、法藏寺、板原行者堂を順次見学し、文化財保護委員より解説を受けました。



人権の大切さを呼びかけました

市では、人権週間（12月4日～10日）にちなみ、11月30日に市内3か所で街頭啓発を行い、人権の大切さを啓発しました。また、12月3日から7日には市役所1階ロビーにおいて、市内の幼稚園児、小・中学生の絵や書などを展示する「人権啓発作品展」が開催され、訪れた人々の心を和ませていました。



楽しいひとときを過ごしました

11月6日に市内の民間保育園7園（アイビースクール、アンビー、条南保育所、ぱる、南海かもめ保育園、すこやか保育園、とれどあ保育園）の年長クラスの子どもたち約170人が総合体育館に集まり、小学校入学前の友だちづくりを目的に交流会を行いました。違う保育園のお友だちがたくさんいて子どもたちは少し緊張した様子でしたが、会がすすむにつれうつとけ、みんなで楽しいひとときを過ごしました。



外部の視点から市の事業を評価！

11月24日、外部評価を開催しました。当日は、外部評価委員（学識経験者、市民行政経験者）から、市が行う5事業について、外部の視点から貴重なご意見・評価をいただきました。

市では、今回議論された内容や評価結果を踏まえて、十分な検討を行い、事業の見直しに活用していきます。評価結果を踏まえた今後の市の対応方針については、順次公表いたします。

なお、市ホームページに当日の模様を動画で掲載していますので是非ご覧ください。



おづみん氷像も登場しました

12月1日、戎町公園にて「彫刻と花壇で公園を飾ろう」を開催されました。市民募集で作製された花壇に子どもたちが作った植木鉢やモールクラフト、また、本市在住の彫刻家を中心に阪南エリア在住の彫刻家による作品が展示されました。公園中央では氷の「おづみん」がアナクラウンプラザホテル大阪の調理師により作製されました。



小中学生 想いや夢を語る！

11月21日、市民会館小ホールで「小中学生弁論大会」が開催されました。自分を取り巻くさまざまなテーマについて子どもたちが精一杯考え、それをまとめての熱弁が会場に響きました。審査の結果、小学生の部では楠小6年・西村海渡さん、中学生の部では小津中3年・石田朋也さんが、最優秀賞に輝きました。



古代人の精神世界を学びました

池上曾根弥生学習館では学習館企画展「弥生の世界像」の記念講演会として、10月20日に「縄文の祈り」（講師：瀬口眞司氏）を、11月24日に「弥生の祈り」（講師：森岡秀人氏）と題する講演会を、府立弥生博物館などと共に催して実施しました。講演では史跡池上曾根遺跡から出土した鳥型木製品やドラゴンの絵が描かれた土器なども取り上げられ、参加者は古代人の精神世界について学びました。